

セーフティ&グリーン、安全・安心で清潔なまち

～柏市の安全安心まちづくり推進事業について～



平成19年度版

柏市総務部防災安全課

1 はじめに

本市は、柏駅周辺にデパートや各種専門店など数多くの魅力的な商業施設が建ち並び、毎夜ストリート・ミュージシャンが演奏やパフォーマンスを繰り広げ、県内有数の広域商業都市として、また「若者の街」として連日多くの人たちが集い、活気と賑いにあふれていました。

一方、不特定多数の人が集うことにより青少年の非行や風俗店の勧誘、心ない人たちによる落書きの横行など、治安の悪化を助長させる行為や状況が多々見受けられました。柏警察署管内におけるここ数年の刑法犯の認知件数は、平成9年では6,000件弱であったものが、平成14年は遂に10,000件を超え、年々悪化の一途をたどっている状況にあり、夜間、安心して歩けないなど不安感を生じさせており、市民意識調査の生活環境評価においても、防犯体制に多くの不満が寄せられていました。

2 柏市安全で安心なまちづくり推進条例の制定

このような現状を打破し、市民共通の願いである安全で安心できる住みよいまち“柏”を実現するため、平成12年度に学識経験者や市民団体の代表者等で構成する「柏市安全安心まちづくり検討委員会」を設置しました。同委員会で検討を重ね、平成13年1月に安全で安心なまちづくりの推進と条例の制定を骨子とした「安全安心まちづくりの提言書」を市長に提出しました。

この提言書には、「市民の、市民による、市民のための安全安心まちづくりが展開されることを期待する。」との願いが込められています。

柏市では、この提言を踏まえ、県内市町村で3番目の生活安全条例となる「柏市安全で安心なまちづくり推進条例」を制定、平成13年4月1日から施行し、市民や事業者の安全意識、防犯意識を高め、市、市民、事業者がそれぞれの責務と自覚を持ち、警察署をはじめとする関係機関、団体が一体となり、市全体で犯罪防止のための事業を展開することになりました。

3 安全安心まちづくり推進会議とモデル地区の指定

(1) 柏市安全安心まちづくり推進会議の発足

安全安心まちづくり推進事業の円滑化や、多方面の方々の協力を得るため、防犯団体、事業者、柏警察署、市等16名の委員で構成する「柏市安全安心まちづくり推進会議」を発足させ、平成13年6月に初の会議を開催しました。

会議では、事業を推進するうえで柏らしさをアピールするため、将来のまちづくりの目標となるスローガンをセーフティ&クリーン、安全・安心で清潔なまちと定め、住む人にとっても、来訪する人にとっても安全・安心で清潔なまちを創造していくために、事業に取り組むことになりました。

柏市安全安心まちづくり推進会議要領

(設置)

第1条 柏市安全で安心なまちづくり推進条例（平成13年柏市条例第1号。以下「条例」という。）に基づくまちづくりを推進するための事業の協議及び事業への協力を図るため、柏市安全安心まちづくり推進会議（以下「推進会議」という。）を設置する。

(協議事項)

第2条 推進会議は、次に掲げる事項を協議する。

- (1) 市民等及び事業者の防犯意識の高揚に関すること。
- (2) 市民等及び事業者の自主的な防犯活動に関すること。
- (3) 犯罪の防止に配慮した環境の整備に関すること。
- (4) その他必要と認める事項

(組織)

第3条 推進会議は、委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者をもって充てる。

- (1) 別表第1に掲げる団体の代表者
- (2) 千葉県柏警察署長が指名する者
- (3) 別表第2に掲げる職にある者

3 前項第1号の委員の任期は、2年以内とする。ただし、補欠の委員の任期は、その前任者の残任期間とする。

4 委員長及び副委員長は、委員の互選によって選出する。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員長は、会務を総理し、推進会議を代表する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 推進会議の会議は、必要に応じて委員長が招集し、議長となる。

(委員の責務)

第6条 委員は、その代表する団体に対し、会議の内容を伝えるとともに、会議の決定事項について、協力を要請するものとする。

(庶務)

第7条 推進会議の庶務は、総務部防災安全課において処理する。

(補則)

第8条 この要領に定めるもののほか必要な事項は、委員長が会議に諮って定める。

附 則

この要領は、平成13年6月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成16年4月8日から施行する。

附 則

この要領は、平成19年3月31日から施行する。

(2) 安全推進モデル地区の指定

柏警察署，柏市安全安心まちづくり推進会議と協議した結果，次の理由で柏駅周辺（約63ヘクタール）を安全推進モデル地区に指定し，平成13年7月3日に告示しました。

モデル地区では，パトロールやキャンペーン，落書きやめさせ隊などの事業を重点的に行っています。

【指定理由】

- ア 柏の玄関口であり，PR効果が期待できる。
- イ 繁華街であり，犯罪発生件数が市内で一番多い。
- ウ 柏駅を中心としており，パトロール区域に適當である。



5 安全安心まちづくり推進事業（経過）

本市では、平成13年度から「セーフティ&クリーン，安全・安心で清潔なまち」をスローガンに、「犯罪を起こさせない人づくり」「犯罪が起こりにくいまちづくり」「犯罪が起こりにくい地域づくり」を3本柱として、安全安心まちづくり推進事業を開始しました。

現在は、事業の柱を「防犯啓発事業」「犯罪を起こさせない人づくり（組織づくり）事業」「犯罪が起こりにくいまちづくり（地域づくり）事業」として、これまで取り組んできた各事業の成果等を検証し、事業の実効性を高めながら、市内各地域にわたる均衡のとれた事業展開を推進しています。

(1) 防犯啓発事業

『市民一人ひとりが安全で安心なまちづくりについての関心及び理解を深め、自ら安全の確保に努めるとともに、犯罪防止に向けて適切かつ効果的に活動することができるよう、防犯事業・防犯対策の紹介や犯罪発生状況等の情報提供、防犯キャンペーンなどを行っています。』

ア 「広報かしわ」への記事掲載

安全安心まちづくり推進事業をPRするため、機会あるごとに月2回発行している市広報紙の「広報かしわ」に記事を掲載し、事業の周知と協力などを呼び掛けています。

イ 標語，防犯ポスター募集・掲示

平成13年度から実施

夏休み期間中に小・中学生と一般の方を対象に、防犯をテーマとした標語とポスターを募集し、入選作品を町内会掲示用ポスターやキャンペーン用のぼり旗として活用しています。



年度	テーマ	標語小中	標語一般	ポスター小中	ポスター一般
H13	「安全で安心なまちづくり」	37点	66点	25点	0点
H14	「落書き防止」	57点	83点	10点	0点
H15	「子どもの安全」	15点	42点	36点	1点
H16	「子どもの安全」	181点	69点	54点	0点
H17	「子どもの安全」	35点	27点	81点	1点
H18	「子どもの安全」	42点	33点	160点	0点

ウ 安全安心まちづくりキャンペーン 平成13年度から実施

秋の全国地域安全運動の期間中（10月11日～10月20日）、柏警察署との共催により柏駅前サンサン広場（通称ダブルデッキ）において、買物客や来訪者の防犯意識の高揚を図るため、街頭キャンペーンを実施しています。

平成14年度からは、柏市少年補導委員連絡協議会も共催しています。

主な内容としては、標語・ポスター作品入賞者の表彰や防犯啓発グッズの配布等を行っています。



年度	実施日	参加人員
H13	10月14日（日）	約120名
H14	10月19日（土）	約300名
H15	10月18日（土）	約300名
H16	10月23日（土）	約220名
H17	10月15日（土）	約250名
H18	10月14日（土）	約300名

エ 犯罪発生マップ

平成16年度から実施

市内で発生した犯罪（住宅対象侵入盗，自動車盗，車上ねらい，ひったくりの4手口）の発生状況をコミュニティエリア別，大字別に表示した犯罪発生マップを作成し，紙面及びインターネットによる市民への情報提供を開始しました。



平成18年度からは，県警察においても同様の犯罪発生マップをインターネットで公開しているため，本市ではインターネットでの公開を止め，紙面による情報提供のみを行うこととしました。

(7) 紙面による全世界帯への配布

年2回（9月：1～6月期，3月：1～12月期）

(1) インターネットによる公開 ※平成16年度，17年度

年4回（6月：1～3月期，9月：1～6月期，

12月：1～9月期，3月：1～12月期）

オ 不審者情報等のメール配信

平成17年度から実施

携帯電話のWebサイト上に，市のホームページを立ち上げるとともに，同サイトに登録した市民の携帯電話に，防災情報や不審者情報等を「重要なお知らせ」としてメール配信をしています。



配信情報は，防災，防犯，光化学スモッグ，行方不明者，火災，警察からの要請事項など，身体・生命・財産に影響を及ぼすもので，市全域に関わる事項です。

年度	防 犯	不審者	行方不明者	その他	交通安全	計
H17	28件	8件	3件	0件	2件	41件
H18	27件	9件	23件	2件	1件	62件

カ 地元ケーブルテレビによる情報提供

平成17年度から実施

(株)ジェイコム関東東関東局と安全安心情報の提供に係わる協定を平成17年7月4日に締結し、防災、不審者、防犯等の情報を同局所定のチャンネル内にテロップ情報として表示し、市民への情報提供（行方不明者除く）を行っています。

年度	防 犯	不審者	その他	交通安全	計
H17	18件	6件	3件	2件	29件
H18	29件	7件	0件	1件	37件

キ 音声広報

平成18年度から実施

柏駅（東・西口）ダブルデッキにおいて、市・柏警察署共同による空き巣対策の防犯音声放送を平成18年6月17日から開始しました。



音声放送は「たばこのポイ捨て禁止」と「空き巣防犯対策」の二本構成により、5分間隔で放送しています。

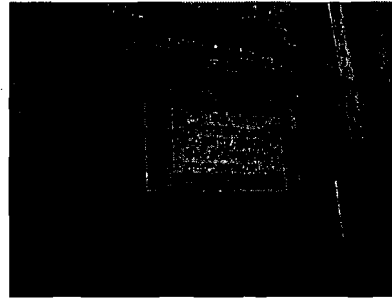
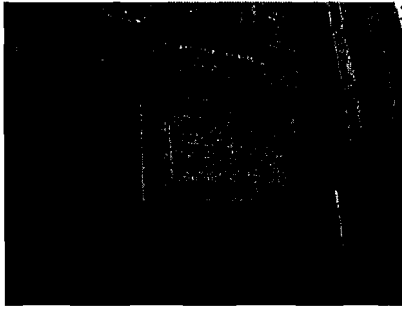
ク エキサイト・ビジョンへの放映

平成18年度から実施

柏駅東口スカイプラザ壁面に設置されているエキサイト・ビジョンにおいて防犯情報を放映しています。

放映期間は、土曜日スタートの翌週金曜日までの一週間。

放映時間は、午前7時30分から午後3時30分までの間、30分ごとに、文字のみのスクロールで2分間放映されます。



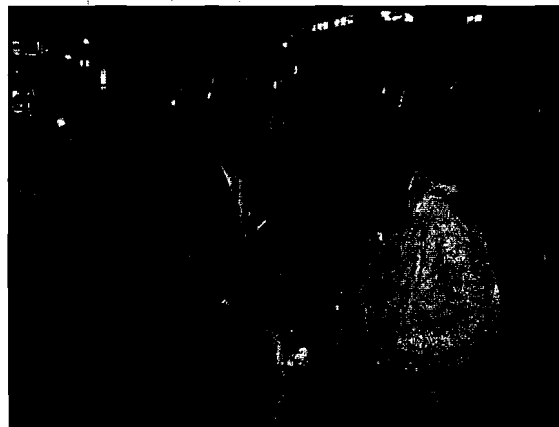
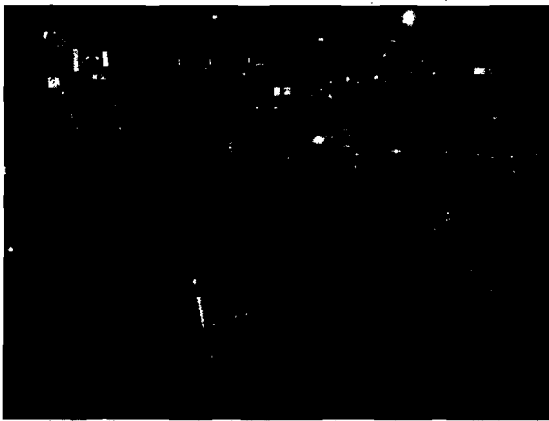
年度	振り込め詐欺	車上荒らし	空き巣・引ったくり	安全安心	計
H18	1件	2件	4件	2件	9件

ケ 自転車盗難防止キャンペーン

平成17年度から実施

市内で一番多い犯罪である自転車盗対策として、市営自転車駐輪場において柏警察署、柏市防犯協会、庁内関係部署と連携して自転車盗難防止キャンペーンを実施しています。

年度	実施場所
H17	北柏北口自転車駐輪場・南柏駅東口自転車駐輪場
H18	北柏北口自転車駐輪場・南柏駅東口自転車駐輪場



(2) 犯罪を起こさせない人づくり（組織づくり）事業

『安全で安心して暮らすことができる地域社会を実現していくためには、市民の心構えと、地域における強い連帯意識が不可欠である。自分のことは自分で守る（自助）、自分達の街は自分達で守る（共助）との認識に立ち、自ら率先して行動しつつ、町会・自治会等による自主防犯活動のリーダーとしても活躍できる市民を育てます。』

ア エンジョイ・パトロールの集い（講演会）

平成13年度から実施

防犯活動を実施している方々の、防犯意識の高揚や防犯に関する知識の習得などを目的として講演会を開催しています。

なお、事業名については、当初「安全安心まちづくり講演会」としていましたが、平成16年度に「防犯ボランティアの集い」に変更しました。

年度	テーマ	講師	参加人員
H13	「市民が創る安全・安心・クリーン柏」	日本女子大学教授 清永 賢二 氏	約250名
H14	「自ら守る，安全なまち」	日本大学助教授 尾田 清貴 氏	約200名
H15	「市民がつくる安全・安心まちづくり」	東京大学教授 小出 治 氏	約200名
H16	「健康・体力づくり4つのキーワード」他	早稲田大学助教授 岡田純一 氏 他	約350名
H17	「子どもを犯罪から守るまちづくり」	千葉大学教授 中村 攻 氏	約300名
H18	「何故起こる子どもの事件，どう守る子どもの安全」	日本市民安全学会 会長 石附 弘 氏	約260名



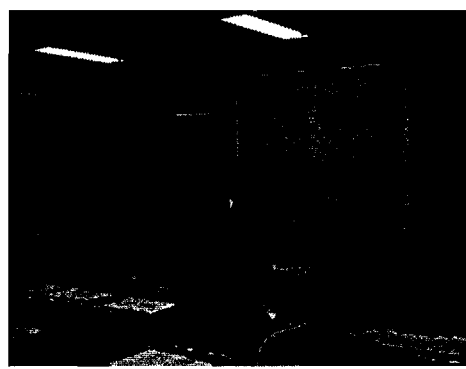
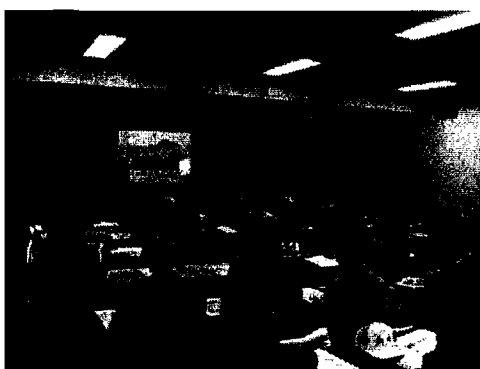
イ Kashiwa・An・An アカデミー（防犯講座）

平成13年度から実施

市民生活に関わる防犯についての知識の習得を図るとともに、それぞれの立場で防犯活動に活躍できる方を養成するための連続講座として開校しています。

アカデミーの名称の「An・An」とは、「安全・安心」を表現したものです。

年度	実施日	受講者数	内容・テーマ等
H13 (1期)	10/20, 21 (土・日)	基礎50名	・市民の心構え
	11/17, 18	専門39名	・行動する市民のためのゼミナール
H14 (2期)	3/2, 8, 9 (土・日)	83名	・柏の安全, 子どもの安全
H15 (3期)	9/13, 20, 27 (土)	81名	・みんなの安全～自分, 我が家, 子ども, ご近所の防犯対策
H16 (4期)	1/15, 22 (土)	82名	・市民のための実践的安全学 ・安全情報の実践学
	29日	*430名	29日→日本市民安全学会柏大会
H17 (5期)	11/12, 13, 19 (土・日)	74名	・地域犯罪情勢概論, 地域安全学 総論, 各論
			・実践防犯対策, パトロール ・振り込め詐欺, 少年問題概論
H18 (6期)	1/16, 17 (火・水)	63名	・地域犯罪情勢概論, 児童虐待防止, 地域安全学総論, 子どもの安全 (4時間授業)



ウ エンジョイ・パトロール情報交換会（防犯講習会）

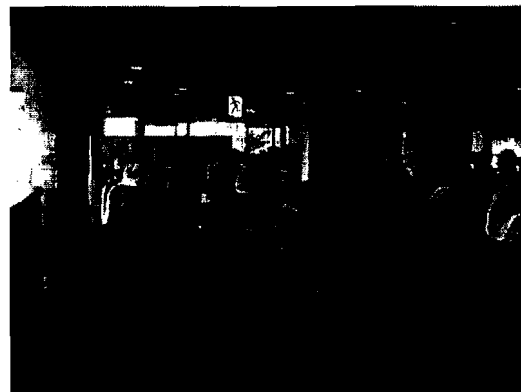
平成16年度から実施

防犯指導員及びエンジョイ・パトロール会員を対象として、防犯知識の習得と各地区の防犯ボランティア相互間の連携を図るため、コミュニティエリアごとに各近隣センター等を会場として開催しています。

内容は、「犯罪情勢について」「防犯パトロールの心得について」「情報交換会」「実践パトロール」等です。

なお、事業名については、当初「防犯ボランティア情報交換会」としていましたが、平成18年度から対象者をエンジョイ・パトロール登録者としたため、「エンジョイ・パトロール情報交換会」に変更しました。

年度	実施日数	会場	参加人数	内容等
H16	5日	8会場	293名	フリートーク
H17	6日	11会場	276名	フリートーク
H18	8日	15会場	325名	実践パトロール

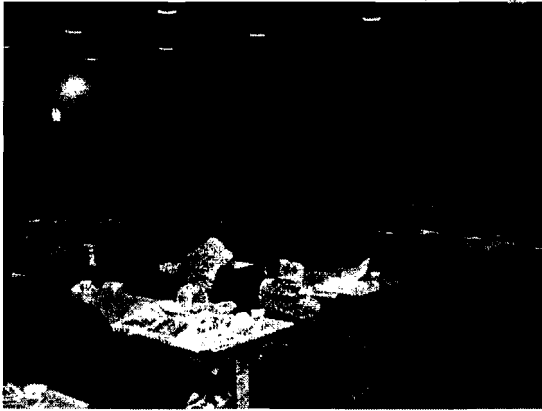


エ 防犯講習会

平成13年度から実施

市民の皆さんに、犯罪情勢や、安全・安心まちづくり推進事業の取組み、自主防犯活動の意義等を理解してもらおうと

もに、防犯組織の立ち上げに結び付けていくため、各地域に出向いて防犯講習を実施しています。



オ 「かしわ子ども安全ハンドブック」の発行

平成14年度から平成18年度まで

平成19年度から教育委員会学校安全対策室へ事務移管

子どもを狙った犯罪が多発していることから、小学生に対し不審者や危険箇所などの注意喚起を行うとともに、自己の防犯意識を高めるため、子ども向けの防犯小冊子として作成しました。作成にあたっては、平成14年度に学校関係者、補導団体、日本ガーディアン・エンジェルズ柏支部、柏警察署、市関係部署で編集会議を設け、掲載内容等の検討を重ね作成しました。

(7) 編集対象学年

小学校4年生を対象に編集 ※小学校低学年対応

(イ) 内容

- a イラストを多用した子ども向けの犯罪防止策
- b 父母向けの犯罪防止策

(ウ) 配布実績

平成15年度 小学4年生全児童

平成16年度 小学1～4年生全児童

平成17年度 小学1年生全児童

(3) 犯罪が起こりにくいまちづくり（地域づくり）事業

『犯罪の防止に配慮した公共空間の環境を整備することにより、犯罪が起こりにくいまちづくりを進めていくとともに、防犯団体や防犯ボランティア等による、市内各地域におけるきめの細かい防犯活動を展開し、犯罪が起こりにくい地域づくりを進めています。』

ア エンジョイ・パトロール

平成15年12月から実施

エンジョイ・パトロールは、子どもを狙った不審者や、一般住宅対象の空き巣、忍込みなどの身近な犯罪を、地域の見守り合いにより抑止することを目的とします。

この制度の特徴は、市民の皆さんが日頃、健康増進や趣味の一環として行っている散歩やジョギングに併せて、都合の良い時間に、好きな場所で防犯パトロールをしてもらうことです。

参加登録者には「柏市防犯パトロール」と書かれた黄色い帽子又はサンバイザー（女性の希望者）を貸与し、これらを被ってパトロールをしていただきます。

平成16年 2月 1日	約1,000名
5月 1日	約1,610名
8月 1日	約1,950名
11月 1日	約2,100名
平成17年 2月 1日	約2,160名
5月 1日	約2,330名
8月 1日	約2,680名
11月 1日	約2,890名
平成18年 2月 1日	約3,480名
4月 1日	約3,720名
平成19年 2月 1日	約4,700名
4月 1日	約4,700名



イ 市民安全パトロール支援車（通称：サポカー）による地域防犯活動の支援

平成16年度から実施

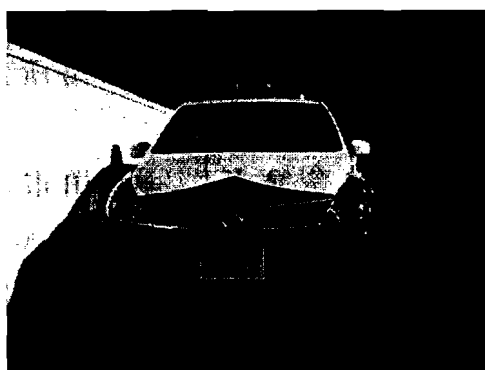
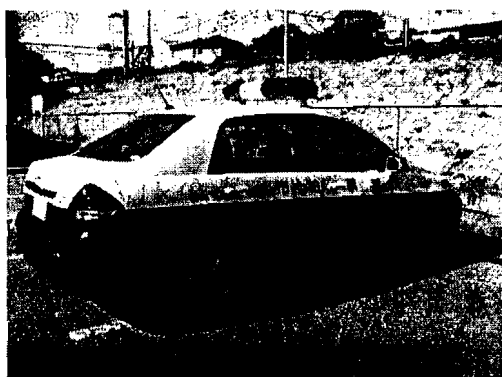
警察官OBや市職員OBを「地域防犯サポーター」として5名雇用し、パトロールカーと同様の塗装を施した市民安全パトロール支援車（通称：サポカー）2台による地域巡回パトロールを開始しました。

平成17年度には、市の合併に伴い、地域防犯サポーターを9名、サポカーを4台に増強しました。

活動時間帯は、児童・生徒の帰宅時間帯で、仕事等により地域の防犯力が低下する時間帯としています。

「サポカー」の由来

柏レイソルのホームタウンとしてのサポーターとパトカーを掛け合わせた造語です。



年度	台数	人員	雇用内訳	活動時間帯
H16	2台	5人	警察官OB⇒3人 市職員OB⇒1人 市消防OB⇒1人	13:00～18:00 (7.8月のみ下記時間) 14:00～19:00
H17 (3/28) 合併	4台	9人	警察官OB⇒6人 市職員OB⇒1人 市消防OB⇒2人	13:00～18:00 (7.8月のみ下記時間) 14:00～19:00
H18	4台	9人	警察官OB⇒5人 市職員OB⇒1人 市消防OB⇒3人	13:00～18:00 (7.8月のみ下記時間) 14:00～19:00

ウ 庁用車防犯パトロールステッカーの貼付

平成17年度から実施

犯罪の未然防止や市民への防犯意識の啓発を行うため、庁用自動車に「かしわ市中見廻り隊」のステッカーを貼付し、職員が日常の外出業務等を通して、パトロール活動を行っています。



パトロール活動は、「かしわ市中見廻り隊（パトロール中）心得」に基づき実施し、事件等に遭遇した場合には、110番通報、学校等関係者への通報、身柄の保護等の任務を負っています。

オ 公共空間防犯環境設計整備基準の制定・施行

平成18年3月31日に制定・同年10月1日施行

犯罪に強いまちづくりを推進していくため、庁内関係部署によるプロジェクトチームを編成し、学識経験者のアドバイスを受けながら、公園や道路等公共空間などのハード面に、防犯要素を取り入れる公共空間整備基準を制定、施行しました。

整備を進めるにあたっては、事業実施課において該当地域等での犯罪発生状況を分析し、ち密で効果的な犯罪抑止に向けた公共空間整備を行っていく必要があります。

カ 落書きやめさせ隊

平成13年度から実施

「落書きやめさせ隊」というユニークなネーミングの団体は、安全安心まちづくり推進事業のスローガンである『セーフティ&クリーン、安全・安心で清潔なまち』の実現を目指し、「常に街をきれいにしておくことが犯罪の防止につながる」との観点から、犯罪の温床となる柏駅周辺の「落書き」

を一掃し、犯罪を抑止することを目的として結成されました。

活動は、毎月1回のペースで実施してきましたが、駅周辺の落書きは、ほぼ一掃した状態となっているため、落書きの状況により活動することとしました。

平成18年度からは、市内各駅周辺や国道等幹線道路沿線の公共施設に描かれた落書きを作業対象に加え、活動のPRを広げました。

なお、名称を「落書きやめさせ隊」

とした理由は、落書きを消すという行為自体を優先するのではなく、隊員の皆さんの作業姿から、多くの市民や来訪者に落書きの犯罪性と落書きを消すことの苦勞をアピールし、

落書きをやめさせる目を養わせること（すなわち、犯罪を減少させる精神を植え付けること）を最優先の目標としたからです。隊員は、背中に黄色で「落書きやめさせ隊」と大きくプリントした真っ赤なつなぎ服を作業用ユニフォームとして着用し、土曜の昼下がりの雑踏の中で作業を行っています。落書き消しに励む姿を想像していただければ、かなり人目を引くスタイルであると思います。



年 度	作業回数	延べ参加人数
H13	3回	88名
H14	8回	189名
H15	7回	143名
H16	1回	17名
H17	1回	18名
H18	2回	18名

キ 市民パトロール

平成13年度から実施

安全推進モデル地区内で、Kashiwa・An・An アカデミー受講者をはじめとする市民ボランティアによる柏駅周辺のパトロ

ールを「落書きやめさせ隊」の活動日に併せ、柏警察署、日本ガーディアン・エンジェルズ柏支部の協力のもと実施しています。

また、柏警察署の歳末警戒等出動式や、安全安心キャンペーン等にも参加しています。



平成18年度からは、防犯PRの強化と新たな防犯ボランティアを開拓していくため、市内の他の駅周辺を活動地区に加え新たな地域展開を推進しています。

年 度	活動回数	延べ参加人数
H13	3回	83名
H14	8回	153名
H15	10回	284名
H16	7回	232名
H17	6回	272名
H18	8回	233名

ク 日本ガーディアン・エンジェルズ柏支部

「日本ガーディアン・エンジェルズ」は防犯のボランティア団体として、トレードマークの赤いベレー帽と白いTシャツで、都内等の繁華街のパトロールを行っています。本市においては、平成13年4月から柏駅周辺の夜間巡回パトロールをスタートし1年間の活動を経て、平成14年3月24日に国内5番目の支部となる「柏支部」として正式に発足しました。同支部は、市主催の事業に積極的に参加しています。



ケ 柏駅周辺防犯推進協会

(7) 設立

「安全推進モデル地区」の柏駅周辺では、「落書きやめさせ隊」「市民パトロール」「日本ガーディアン・エンジェルス柏支部による巡回パトロール」「少年補導委員による街頭補導」「安全安心まちづくりキャンペーン」など様々な防犯活動が展開されています。

このような状況の中、柏駅周辺の商店会等の事業者が主体となり、市、柏警察署、柏商工会議所との連携により、これらの防犯活動を支援するとともに、柏駅周辺における治安悪化の防止を図るため、「柏駅周辺防犯推進協会」(GAP: Guardian Association Prevention of crime)を平成15年3月26日に設立しました。

(1) 事業内容

a 防犯ボランティア団体への支援

「日本ガーディアン・エンジェルス柏支部」「落書きやめさせ隊」「市民パトロール」などの活動を支援しています。

b 柏駅周辺における防犯活動の実施

平成16年度にボランティアを募りGAPパトロール隊を結成。日本ガーディアン・エンジェルス柏支部との合同パトロール等の活動をしています。

c 防犯カメラの設置・管理

柏駅東口ダブルデッキ上に設置し、平成19年3月29日から運用開始しました。

d その他

(a) 防犯知識の習得及び普及

(b) 広報紙の発行

(ウ) 会員

a 正会員 協会に賛同する法人、団体、個人

b 特別会員 柏市

(4) その他

ア 子ども安全対策連絡会議

平成15年度から実施

全国的に多発している子どもを狙った犯罪に適切に対処するため、市内各課の連絡体制の強化と情報の共有化を図り、もって緊密な連携による事業展開を推進していくため、市内12部局と柏警察署の構成により設置しています。

なお、会議は年4回であったが、実情に合わせ平成18年度から年3回としました。

イ 柏市防犯交通安全組合

昭和38年設置

柏市防犯交通安全組合は、柏市内の犯罪を防止し、交通災害の予防を図り、社会環境の浄化を推進し、市民福祉の増進に寄与することを目的として昭和38年に設置され、現在21支部から構成されています。当課が同協会の事務局となっています。

会長⇒柏市長

ウ 柏市防犯協会

柏警察署管内における各種防犯団体等の連絡協調と、防犯効果の向上推進を図るために設立されました。理事会、総会等に参加します。

会長⇒柏市長

エ 千葉県防犯協会

犯罪のない明るい社会の実現を理想として、県民の防犯意識を高揚し、各関係団体との連絡協調により、効果的な防犯活動を推進するとともに、少年の非行防止並びに善良な風俗の保持及び風俗環境の浄化に寄与することを目的に設立され

ました。理事会，総会等に参加します。

会長 ⇒千葉県知事

理事長 ⇒船橋市長

副理事長⇒市原市長，柏市長

オ 全国安全都市会議

市区町村が犯罪や自然災害等から守られた「まち」を創出するため「市民が主役の安全・安心まちづくり」の推進が緊要であり，安全問題に関し積極的に取り組む都市ネットワークを構築するとともに，各都市の市民・関係機関などが相互に連携し安全なわがまちの実現を図ることを目的として設立されました。「シェルパ会議」や「首長サミット」などに参加します。

カ 日本市民安全学会

「市民の安全」をめぐる現状及び将来のあり方について，「市民生活の現場」から捉え直し，市民の目線に立った生活安全対策を広く社会全体で考えるため「市民の安全」に関わる全ての関係者がその交流を深め，自由闊達な討議の下，学際的・国際的な研究・交流を通じて，市民安全学の発展・普及及び研究者相互の連携・協力を図ることを目的として設立されました。研究発表会等に参加します。

6 平成19年度安全安心まちづくり推進事業

これまで取り組んできた各事業の成果等を検証し、事業の拡充と地域へのさらなる展開を推進していきます。

(1) 拡充事業

ア エンジョイ・パトロールの拡充

エンジョイ・パトロールの参加登録者は、平成19年4月現在、4,700名を超え、なお増加傾向にあります。地域における、きめの細かい防犯活動を展開していくため、市内全域に均衡のとれた普及を進めていきます。

また、参加登録者のさらなる防犯知識の習得と防犯意識の高揚を図るとともに、参加登録者相互の連携を強化していくため、研修会や情報交換会等を充実させ開催していきます。

イ サポカーによる地域防犯活動の支援強化

さらに事業の実効性を高めていくため、活動時間を13時から18時と14時から19時の二部制として、巡回パトロールの幅を広げ実施していきます。

子どもを狙った事件の発生時など、緊急事態には、柏警察署や関係部署との連携を密にし、複数車両を投入しての重点パトロールなどを実施します。

また、サポカーの通常パトロール時間帯以外の午前中に、柏警察署からの情報提供に基づき、空き巣やひったくり等、身近な犯罪に対する注意喚起を行うため、犯罪発生地区におけるパトロールや広報活動等を実施していきます。

ウ 自転車盗難防止キャンペーン

柏市で発生した犯罪の中で、一番多く発生している自転車盗を抑止していくため、市営自転車駐輪場において柏警察署、や関係部署と盗難防止キャンペーンなどを実施していきます。

エ 不審者等の情報共有会議

子どもの安全対策や空き巣等身近な犯罪抑止をさらに強化していくため、これまで柏警察署生活安全課とサポーター等で実施していた情報交換会に千葉県警察本部東葛地区少年センター、教育委員会が新たに参加し、より広く情報の共有化を図り、それぞれの防犯活動に反映させていきます。

オ 「落書きやめさせ隊」作業対象地区の段階的拡大

「落書きやめさせ隊」の活動は、柏駅周辺を作業対象地区として実施しているが、これまでの活動により同地区の落書きは、ほぼ一掃された状態になっています。

今年度も引き続き、庁内関係部署と連携して作業対象地区を拡大し落書きの一掃に努めます。また、落書きされた施設管理者へ自発的な落書き消しを促していきます。

カ 市民パトロールの拡充

市民パトロールは、毎月第3土曜日に「安全推進モデル地区」において活動を実施していましたが、今年度は、柏駅を利用する通勤、通学者に対してもPRを広げていくため、多くの通行者が見込まれる第3金曜日に、活動日を変更し実施していきます。

また、実施エリアも安全推進モデル地区の成果を踏まえ、段階的に市内の各路線・各駅へ展開していきます。

キ 防犯環境浄化活動

「安全推進モデル地区」の柏駅周辺や商店街などを中心として、東電柱、NTT柱、街路灯柱等の公共物に貼付されているピンクチラシや屋外広告看板等を、警察等関係機関及び市民ボランティアと連携し一掃していきます。また、同時に当該施設管理者への自主撤去も促していきます。

(2) 継続事業

ア ポスターの募集・掲示

柏警察署においても、同様のポスター募集を実施しているため、今年度から警察、教育委員会との共催事業として、さらに内容を充実させ実施していきます。

優秀作品はポスター印刷し、11月1日に町会・自治会等へ配布します。

イ エンジョイ・パトロールの集い

7月開催予定。

ウ エンジョイ・パトロール情報交換会

10月、11月にコミュニティエリア別に開催。

エ 安全安心まちづくりキャンペーン

10月13日（土）開催予定。

オ Kashiwa-An-An アカデミー

1月開催予定。

カ 犯罪発生マップ

年2回発行。

① 9月1日発行⇒1～6月期の上半期データで集計

② 3月1日発行⇒1～12月期の年データで集計

※ 平成19年9月から市のホームページ上で、紙面マップを公開いたします。

キ 「広報かしわ」への記事掲載

随時実施。

ク 不審者情報等のメール配信（ケーブルＴＶ情報提供）
随時実施。

ケ 公共空間防犯環境設計整備基準施行

関係事業課へ犯罪情報提供するとともに、整備基準に基づ
く整備を促します。

コ 子ども安全対策連絡会議

年３回開催予定。

サ 庁用車防犯パトロール

通年実施。

シ 防犯講習会

随時実施。

ス 音声広報

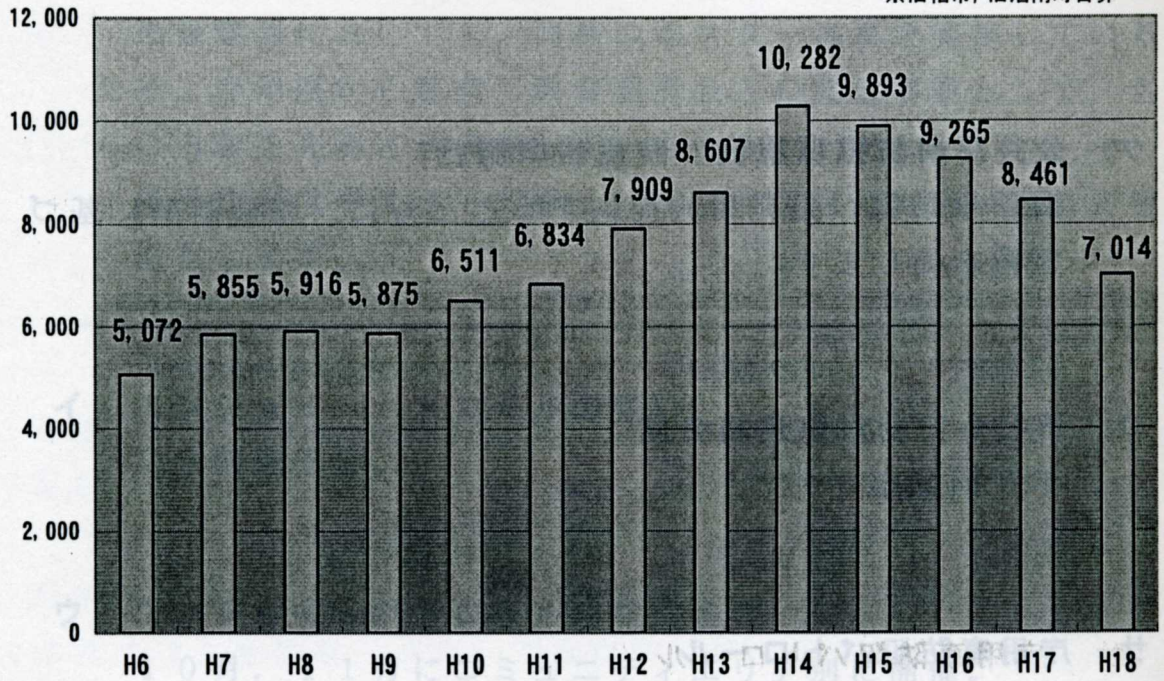
随時実施。

セ エキサイトビジョン

随時実施。

柏市刑法犯認知件数推移

※旧柏市, 旧沼南町合算



エンジョイパトロール登録者推移

